

イタリアンライグラスで多収の早生品種「いなずま」

早生のイタリアンライグラス「いなずま」は、乾物収量が高く、立性で倒伏に強いため、機械作業に適し、安定した収量が確保できる

背景・目的

- ・県内におけるイタリアンライグラスの作付面積は11,240haと、秋冬作の約90%を占める代表的な飼料作物
- ・県酪農及び肉用牛生産近代化計画に掲げる飼料自給率の向上に向け、飼料作物優良品種の選定・普及が必要
- ・イタリアンライグラスについて、収量性、耐倒伏性、耐病性等に優れた品種が求められている

成果の内容

「いなずま」の特徴（「タチマサリ」との比較）

- ・発芽、初期生育は同程度
- ・耐倒伏性、耐病虫害は同程度
- ・草型は立性で機械作業に適する
- ・乾物収量は104%と多い



「いなずま」の草姿

3年間の試験成績（H23～H25）

品種	発芽 良否	定着時 草勢	刈取時出穂程度		草丈(cm)		倒伏程度		病虫害程度	
			1番草	2番草	1番草	2番草	1番草	2番草	1番草	2番草
いなずま	7.7	8.0	2.4	8.8	128.4	103.7	2.0	1.7	1.0	1.0
タチマサリ	7.7	8.0	2.7	8.2	128.2	105.5	2.0	1.3	1.0	1.0

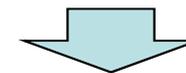
注) 発芽良否・定着時草勢: 1(極不良)～9(極良), 出穂程度: 1(出穂無・極小)～9(極多), 倒伏程度, 病虫害程度: 1(無, 極微)～9(甚)

品種	生草収量(kg/a)			乾物収量(kg/a)			乾物収量の 対指標(%)
	1番草	2番草	計	1番草	2番草	計	
いなずま	659	281	940	116	49	165	104
タチマサリ	616	291	908	107	51	158	100

導入
メリット

自給飼料の安定確保

県内で利用の多い普通種(中生)中心の栽培体系では、刈取収穫等の時期が重なり、不安定な気象等への対応が困難である



早生の優良品種を組み合わせることにより、作業時期が分散され、より安定的な自給飼料の確保が期待できる

期待される効果

自給飼料の安定確保による県内酪農家、肉用牛農家の経営安定

鹿児島県農業開発総合センター 畜産試験場 企画環境飼料部 草地飼料研究室

普及対象・範囲
県内の肉用牛農家、酪農家

(高能力飼料作物品種選定調査)

(H29)